

## 第 20 回 PCV 漏えい試験検討会 議事録

1. 開催日時: 平成 26 年 12 月 4 日(木)10:30~11:40

2. 開催場所: 日本電気協会 4階 D 会議室

3. 参加者 : (順不同, 敬称略)

□ 出席者: 大木主査(関西電力)

青柳(北海道電力), 今井(三菱重工業), 梅岡(電源開発), 大坂(日立 GE ニュークリア・エナジー), 楠本(九州電力), 工藤(発電設備技術検査協会), 小林(日本原子力研究開発機構), 堀水(原子力安全推進協会), 上田(関西電力), 山崎(東京電力)  
首藤(日本原子力発電), 斉藤(中部電力), 味森(東芝), 清水(東北電力)  
座主(北陸電力) (計 16 名)

□ オブザーバ: 大石(東京電力) (計 1 名)

□ 欠席者: 中川(中国電力)、濱口(四国電力) (計 2 名)

□ 事務局: 飯田、古川(日本電気協会) (計 2 名)

4. 配付資料

配布資料

資料 20-1 PCV 漏えい試験検討会委員名簿

資料 20-2 第 19 回 PCV 漏えい試験検討会議事録(案)

資料 20-3 JEAC4203 本文 新旧比較表(案)

資料 20-4 JEAC4203 解説編 新旧比較表(案)

資料 20-5 誤記の影響評価について

資料 20-6 JEAC4203-2008 解説 公衆審査版抜粋

5. 議事

(1) 定足数等の確認

事務局から、本日の出席者数は、委員 18 名中、16 名出席、2 名欠席で定足数「委員総数の 3 分の 2 以上の出席(12 名以上出席)」であることを報告し、本日の検討会が定足数を満たしていることを確認した。また、オブザーバ出席は 大石(東電)の 1 名であることを確認した。

(2) PCV 漏えい試験検討会 主査の選出

本検討会の前主査が異動により退任したため、主査の互選を行った。堀水委員から(関電)木本委員の推薦があり承認された。また、副主査については、木本主査の指名により(東電)山崎委員とした。

(3) 前回議事録の確認

資料 20-2 に基づき、前回議事録(案)の説明を事務局から行い、承認された。

(3) 議事

作業会で検討した改正原案について、資料 20-3~4に基づき変更点を確認した。コメントを反映し、2 月の構造分科会に報告することになった。

a. 規程本文の修正点について以下のコメントが委員よりあった。

- (a) 「,」と「、」が混在しているので、統一する。(注; 出版される JEAC, JEAG は、「,」統一でしている。)
  - (b) P-14 の 2.8.3 項の 再解放と再開放の語句があるが、どちらかに統一すべきである。→再開放で統一することにした。
  - (c) P-24 の図について抜けているようだが、修正すること。→確認し、記載する。
  - (d) 本日の比較表以外にも出版されている JEAC4203-2008 に誤記がある。→確認して比較表に含める。
  - (e) 式に式番号が記載されているものと、番号が無いものがある。→式には付ける方向で検討を行う。
- b. 解説の修正点について以下のコメントが委員よりあった。
- (a) P-11 の③の漏えい流路面積・・・(摩擦係数が一定)の「擽」の字の誤字→(摩擦係数・・・)。
  - (b) P-24 の解説 3.1-5 は規制庁の藤澤さんのコメントであるから、追記すること。
  - (c) P-24 の解説 3.1-5 に「又」とあるが、そのほかは「また」を使っている。「また」に統一する。
  - (d) P-25 の解説 3.1.6 の記述の順番と(a)、(b)、(c)の順番が異なるので合わせる。
  - (e) P-17 の 3 行目の数値も修正しているので、赤字(変更点)にすること。
  - (f) P-20 の解説 2.21 のフォントがちがうので合わせる。
  - (g) P-21 の PCV バウンダリーの図について、現状の JEAC の図が記載されている。当該 JEAC は現在改定作業中と聞いているが、新しい図に変更する必要はないのか? →当該 JEAC の改定は本検討会の改定より遅れて行われる見込みである。
- c. 誤記の影響評価について資料 20-5 に基づき説明が行われ以下の議論があった。この結果、誤記の影響評価は、表現を修正することになった。
- (a) 誤記については、日本機械学会の誤記の対応で、現在センシティブになっている。
  - (b) 比較表の誤記には、誤記が原因と、誤記によるプラントへの影響が問題になる。今回の誤記は、校正ミス、タイプミスの類である。本規程での誤記は、漏えい率の評価式等の PCV 漏えい試験で使用する式ではなく、評価式の説明のための物理式の展開式のタイプミスで、プラントの漏えい試験に影響を与えるものではない。それが判るような説明にすべきである。
  - (c) 今回、誤記報告のあった式の一部は、JEAC4203-2008 発行後すぐに正誤表が出されたものもある。既に正誤表が公表されているものは、対象外ではないか?

## 6. 今後のスケジュール

今回の、JEAC4203-2008 改定は、技術的改定と、誤記に分けて 2 月の構造分科会に上程する。技術的改定は、中間報告として上程し、来年 6 月の原子力規格委員会で承認を目指す。

誤記の取り扱いについては、事務局で確認することにした。

今回のコメントを反映した修正版は、1 月 15 日 PM に第 21 回 PCV 漏えい試験検討会を開催し確認する。ただし、修正内容によっては、メール審議で処理することとした。

以上